Sun™ Crypto Accelerator 1000 ボードバージョン 1.1 ご使用にあたって

Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No. 816-4572-10
2002 年 7 月, Revision A

コメントの宛先: docfeedback@sun.com

原典: *Sun Crypto Accelerator 1000 Board Version 1.1 Release Notes*
Part No: 816-2451-11
Revision A

Sun Crypto Accelerator 1000 ボード バージョン 1.1 のご使用にあたって

このマニュアルでは、『Sun Crypto Accelerator 1000 ボードバージョン 1.1 インストールマニュアル』を発行した時点では記載できなかった情報について説明します。

iPlanet Web サーバーの既知の問題

1. iPlanet 4.x または 6.x の管理サーバーが動作していて、管理される Web サーバーが動作していない場合、トークンパスワードの入力を求めるダイアログボックスが表示される状況がいくつかあります。大きなフォントが使用されていたり、トークンが多いためにパスワード入力の行が多数表示されたりすると、ダイアログボックスの固定サイズが小さいために、パネルの下部にあるボタンが表示されません。ダイアログボックスのサイズは変更できないため、パネルの下部の「Accept」ボタンを選択して変更を受け入れることができません。

   この問題には、次の 2 つの回避策があります。

   - コマンド行から、または管理用 GUI で「Preferences」の「On/Off」を設定して、最初に Web サーバーを起動します。
   - Web サーバーを起動せずに設定を適用します。「Apply」->「Load Configuration Files」を実行します。

     参照バグ : 4532645

2. 複数の領域が存在する場合、または各サーバーに異なるユーザーが設定されている場合は、iPlanet Web サーバーは動作しません。

   この問題には、次の 2 つの回避策があります。

   - 各 Web サーバーに 1 つの領域と 1 人のユーザーだけを設定します。

- 別々の UNIX ユーザーとして iPlanet Web サーバーの異なるインスタンスを実行すると、それぞれのユーザーに `$HOME/.SUNWconn_crypto_slots` を設定できます。スロットファイルの詳細は、『Sun Crypto Accelerator 1000 ボードバージョン 1.1 インストールマニュアル』を参照してください。

  参照バグ : 4532941 および 4593111

3. iPlanet では、ユーティリティー `pk12util` を使用して、証明書および鍵を内部 (ソフトウェア) データベースからエクスポートして外部 (ハードウェア) データベースにインポートします。ただし、外部データベースからは証明書および鍵はエクスポートされません。

```
% cd /usr/iplanet/servers/alias
% pk12util -o temp.p12 -n "Our Token:Server-Cert" -d .
Enter Password or Pin for "Our Token":
Enter password for PKCS12 file:
Re-enter password:
pk12util: add cert and key failed: Unable to export.  Private Key
could not be located and exported.
```

参照バグ : 4620283

4. iPlanet Web Server 6.0 の設定で、「Cipher Default」を選択し、証明書を選択し、「OK」ボタンをクリックしてから、右上の角にある「Apply」リンクを選択して暗号を適用したあとに、『Sun Crypto Accelerator 1000 ボードバージョン 1.1 インストールマニュアル』で指示されている順番に手順を実行しないと、*user@realm-name* エントリが削除される場合があります。

   このエントリは、Sun Crypto Accelerator 1000 ボードを使用して Web サーバーを正しく起動するために必要です。次の順番で iPlanet Web Server 6.0 を設定すると、エントリが作成されます。

   - 「Cipher Default」または「SSL2」暗号、「SSL3」暗号のいずれかを選択
   - 「OK」をクリック
   - 「Apply」をクリック
   - 「Load Configuration Files」をクリック

   この手順を実行しても Web サーバーが正しく起動しない場合は、次の回避策を実行してください。

   - 次のファイルを編集します。

```
/usr/iplanet/servers/https-hostname.domain/config/server.xml
```

   - 次の文字列で始まる行を検出します。

```
<SSLPARAMS servercertnickname="Server-Cert". . .
```

- 検出した行の Server-Cert の前に *user@realm-name*: を挿入して、次のように変更します。

```
<SSLPARAMS servercertnickname="user@realm-name:Server-Cert". . .
```

- Web サーバーを再起動します。

参照バグ : 4607112

サポートされる Apache Web サーバーのバージョン

このバージョンの Sun Crypto Accelerator 1000 ソフトウェアは、Solaris 8 では Apache 1.3.12 および Apache 1.3.26 をサポートします。また、Solaris 9 では Apache 1.3.22 および Apache 1.3.26 をサポートします。このサポート情報は、オペレーティングシステムに含まれていた Apache のバージョンか、サンの正式なパッチとして提供された Apache のバージョンに適用されます。

Apache Web サーバーの既知の問題

1. Apache の起動ファイル (/etc/rc3.d/S50apache) および dtlogin の起動ファイル (/etc/rc2.d/S99dtlogin) の順序によって、マシンの起動時に順序に関する問題が発生します。このため、コンソールは起動時に Apache のパスワードエントリにアクセスできない場合があります。この問題を回避するには、スーパーユーザーになって次のコマンドを実行して、Apache Web サーバーの起動順を元に戻します。

```
# mv /etc/rc3.d/S50apache  /etc/rc2.d/S95apache
```

Sun Crypto Accelerator 1000 バージョン 1.1 ソフトウェアの既知の問題

1. Solaris 8 オペレーティング環境では、Crypto Accelerator 1000 バージョン 1.1 ソフトウェアをインストールする前に、パッチ番号 112438-01 のパッチをインストールする必要があります。このパッチは、製品の CD の `patches` サブディレクトリに収録されています。また、このパッチを `http://sunsolve.sun.com` からダウンロードすることもできます。

   参照バグ : 4470196

2. 鍵を抽出するためのソフトウェアツールは、iPlanet Web Server 6.x では提供されていますが、iPlanet Web Server 4.x では提供されていません。

   ソフトウェア (内部) データベースの鍵を抽出するには、次の 2 つの回避策があります。

   - NSPR 4.12 および NSS 3.3 (またはそれ以降のバージョン) を次の Web サイトからダウンロードします。
     `http://www.iplanet.com/downloads`

     配布されたソフトウェアをインストールし、データベース上で `pk12util` を実行して、ソフトウェア (内部) データベースから証明書および鍵を抽出します。
   - Netscape Communicator 4.x または 6.x を使用して、ソフトウェア (内部) データベースから鍵を抽出します。

   現在のところ、Sun Crypto Accelerator 1000 ボードが管理している鍵を抽出するための回避策は存在しません。

   参照バグ : 4621453

3. `prtdiag`(1M) を使用したときに、Sun Crypto Accelerator 1000 ボードの表示が異なったり、まったく表示されなかったりする場合があります。これは、`prtdiag` ユーティリティーおよび Open Boot PROM を実行するプラットフォームが異なっているためです。たとえば、Sun Enterprise 450 では、Sun Crypto Accelerator 1000 ボードは次のように表示されます。

```
SYS   PCI    66     4   pciclass,100000
```

   参照バグ : 4343467 および 4526901

4. このマニュアルを発行する時点では、Sun Crypto Accelerator I から鍵および証明書を抽出する機能は使用できません。`http://sunsolve.sun.com` の Web サイトでパッチのデータベースを確認して、この問題を解決するためのパッチが作成されているかどうかを確認してください。

   参照バグ : 4630250

5. Solaris 9 オペレーティング環境が動作している Sun Fire™ V880 システムの場合、66 MHz スロットでの PCI ホットプラグ機能は、Sun Crypto Accelerator 1000 ボードではサポートされていません。これは、Solaris 8 オペレーティング環境が動作しているシステムには関係ありません。この問題は、将来のパッチで修正される予定です。

   Solaris 9 システムでは、システムの電源が切断されている間に、66 MHz スロットにボードを取り付けて、そのまま使用することができます。また、Solaris 9 システムの 33 MHz スロットでは、ボードのホットプラグが可能です。

   参照バグ : 4698278